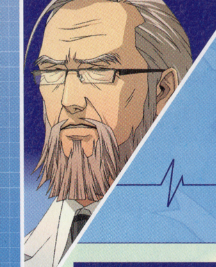


Episode 秘密の患者 7-1

Data

[患　部]	小腸
[バイタル]	80(99)
[手術時間]	05:00:00
[超執刀]	使用可能



原因不明の腹痛で悩むプロテニスプレイヤーを手術する。患者の小腸には新種のギルス・ビュトスが寄生しており、影で行なわれていた意外な事実が判明する。

The patient's Life is in your hands !

1 切開　E・N 04:55:04　H 04:58:23
腹部を消毒して切開(切開→P34)

2 小腸の処置1　E・N 04:36:48　H 04:38:61
裂傷×4を縫合(裂傷→P33)

3 ビュトスのコアを狙って照射し続け、一定ダメージを与えて破裂させる(ビュトス→P52)

4 内出血を生み出されている場合、患部を切開し、血だまりを吸引する(内出血→P39)

5 内出血の切開口と裂傷を縫合
(内出血→P39、裂傷→P33)

6 光球に触れないようにコアを回収し、バイタルを回復(ビュトス→P52、バイタル回復→P33)

7 小腸の処置2　E・N 04:07:83　H 03:49:39
3～6の手順でビュトスのコアを回収
(ビュトス→P52、バイタル回復→P33)

8 3～6の手順でビュトスのコアを回収
(ビュトス→P52、バイタル回復→P33)

9 3～6の手順でビュトスのコアを回収して消滅させる(ビュトス→P52、バイタル回復→P33)

10 裂傷や内出血が発生している場合、すべてを治療する(内出血→P39、裂傷→P33)

11 閉創　E・N 04:00:05　H 03:40:99
切開した部位の閉創処置を行なう
(閉創→P35)

The patient is saved !



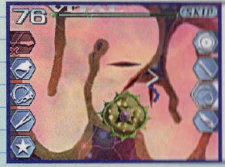
2
安全に進めるなら裂傷をひとつ残し、バイタルを99まで回復。回復後に裂傷を縫合してつぎに進もう。



3-1
しっかりとコアを狙ってレーザーを照射。ビュトスはレーザーを当てると小刻みに動くので注意しよう。



3-2
ビュトスが裂傷を生み出すときはレーザーが当たらない。無駄な照射は避け、裂傷が発生したら照射しよう。



3-3
レーザーが使用不可になってしまったら、復活するまでのあいだに裂傷の処置やバイタル回復を行なおう。



6-1
バイタルを回復しながら、ビュトスの光球を確認しておき、コアを回収するタイミングを計ろう。



6-2
コア回収後は、本体が再生するまでバイタルを回復。裂傷が残っているなら、そのあいだに治療すること。

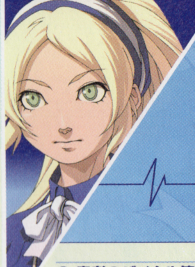
SPECIAL BONUS

No	SPECIAL BONUS 獲得条件	EASY	NORMAL	HARD	獲得スコア
1	Miss 判定無し	–	–	–	500
2	○○○秒以上残して手術終了　※	120	150	180	500
3	MAX CHAIN　○○○以上	15	25	30	500
4	コア摘出の失敗回数が○回以下	4	2	1	500

※分表示では、EASYが2:00、NORMALが2:30、HARDが3:00

OPERATION RANK

ランク	スコア
C	6000 未満
B	6000 ～ 6499
A	6500 ～ 6799
S	6800 ～ 6999
XS	7000 以上



Episode 断末魔 7-3

Data

[患　部]	脳
[バイタル]	80(99)
[手術時間]	10:00:00
[超執刀]	使用可能



ギルスに感染しているGHP医師を手術する。新型ギルスの随伴症によって脳に発生する動脈瘤をつぎつぎと摘出し、3人の医師を連続執刀で救出するのが目的だ。

◎ 患者のバイタル値と連続執刀クリア目標タイム
◇1人目/脳/80(99)/E・N 1分26秒71で処置 H1分07秒91で処置
◇2人目/脳/80(99)/E・N 2分18秒03で処置 H2分11秒12で処置
◇3人目/脳/80(99)/E・N 3分46秒18で処置 H3分33秒09で処置

The patient's Life is in your hands !

1 脳の処置1・1人目　E・N 09:46:36　H 09:45:06
血だまり×3を吸引(血だまり→P34)

2 動脈瘤に収縮剤(黄色の液体)を投与し、ガイドラインに沿って瘤を切り離す(動脈瘤→P43)

3 残りの動脈瘤に収縮剤(黄色の液体)を投与し、ガイドラインに沿って瘤を切り離す
(動脈瘤→P43)

4 切り離した瘤×2を摘出(動脈瘤→P43)

5 血管の血だまり×2を吸引し、血管をそれぞれ繋げて縫合(動脈瘤→P43)

6 脳の処置2・1人目　E・N 08:33:19　H 08:52:09
術野を脳の右側に移動させ、2～5の手順で図アのあ、いの動脈瘤を処置する
(動脈瘤→P43)

7 術野を脳の左側に移動させ、2～5の手順で図アのう、えの動脈瘤を処置する
(動脈瘤→P43)

8 術野を脳の左上に移動させ、病巣が発生するのを待つ

9 2の手順で図アのおの動脈瘤を切り離す
(動脈瘤→P43)

10 術野を脳の右側に移動させ、2の手順で図アのか、きの動脈瘤を切り離す(動脈瘤→P43)

11 術野を脳の左側に移動させ、2の手順で図アのくの動脈瘤を切り離す(動脈瘤→P43)

12 4、5の手順で図アのお、くの瘤を摘出して治療する(動脈瘤→P43)

13 術野を脳の右側に移動させ、4、5の手順でか、きの瘤を摘出して治療する(動脈瘤→P43)

14 脳の処置3・2人目　E・N 08:09:72　H 08:32:14
血だまり×3を吸引(血だまり→P34)

15 2の手順で動脈瘤を切り離す(動脈瘤→P43)



1
このエピソードでは、3人すべてが脳の処置のみで手術が終わる。頭部の切開、閉創の処置は行なわない。



2
手早く処置を行なえるなら、ふたつの動脈瘤に収縮剤を投与して、効果が切れるまえに瘤を切り離そう。



6
術野を移動させるときは、複数の動脈瘤が確認できる位置まで動かし、同時に患部の処置を行ないたい。

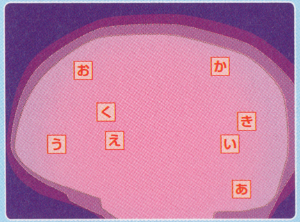


9
動脈瘤の治療まで進めると、ほかの瘤が破裂する恐れがある。瘤を切り離したら、べつの瘤を処置しよう。



12
発生している動脈瘤の瘤をすべて切り離すことに成功したら、患部の血管をくっつける処置に進もう。

■ 図ア(動脈瘤の発生場所)



上の図は脳の処置2で発生する動脈瘤の場所を示したもの。記号はチャート表の番号と対応している。